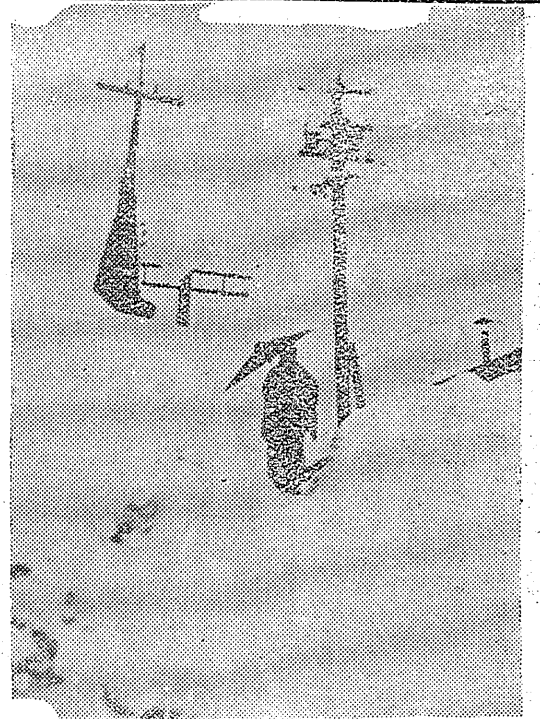


降り積む雪に悩む



郷倉が既に

四百年の昔

渡邊村に設置

貴重な文献発見さる

石城地方にも既記の如く農村の凶作対策として近く郷倉が設置され様として居る折柄既に四百年前の天文三年に渡邊村字内松小屋地内の寺院月洲院に三間に二間の郷倉があり天保七年及び明治卅五年の大凶作には夫々貯蔵種を部落民に配給して救済した記録が最近発見され往昔既に活眼達識の士ありしを肯かして居ると

日土講習

校長會打合

本郡第三日(平第一外十五校)小學校長會は既報の如く今三十日午前十時から平第二校作法室に開催、東京高師日土講習會開催の件、

學務關係

新規の事業

平町學務委員は昨日開會されたが十年度事業としては第三小學校の一學級増加、青年訓練所の銃機室を六百餘圓で第一小學校内に設

教育視察の件、教務主任會研究題の件、事業計劃に關する件、會費増額の件等に就いて協議した

將來滿洲國に

活躍する兒童

宗像氏凶土救済の

篤志に依つて選定

目下ハルビンに在り本縣出身在滿邦人中の成功者として知られた石川郡蓬田村出身宗像金吾氏が凶土救済の一助にと滿洲國新京商業學校入學者一名の翼資を本縣に申込み來つた爲め過般來本郡下に於ける凶作地小學校の優秀兒童中からも希望者を募つた處十餘名に達したので昨日平第一小學校に於て郡教育會長篠山第一校長自から口頭試問、身体検査、人物考査を行つた結果澤渡小學校六年生加藤文丸君を合格者と決定したが、斯くして更に縣下各郡より一名宛選らばれた兒童に互して受験の結果合格の曉は前記宗像氏から學資を給され新京商業學校に入學する事になる

舊正月迫り

入札米大量

平農業倉庫は本卅日午後二

警察部長一行

スピード視察

新任警察部長長島田昌福氏は郡下三警察署を初巡視の爲め明卅一日午前九時來郡四倉署を初め、植田の順に巡視し同夜は平町に泊翌一日小野新町に向け出發と云ふスピード視察に本署では本日管内駐在巡查を臨時召集して本署の大掃除を行つた一方青沼平町長其他發起で歡迎會を開くと

せ舊正月迫るの感を深からしめた

女子卓球

選手權大會

平卓球協會主催のトナメント式に依る第四回郡下女子卓球選手權大會は來月十日午前九時より常磐銀行樓上に開催されるが優勝者にはカップ及び副賞が授與される、出場希望者は二月八日迄にマルトモ運動具店に申込み度いと

母校の名を輝した

運動部名選手去る

別れを惜む平商の送別會

平商業學校運動部にては近く夫々部員の送別會を催し記念品を贈る爲め目下委員を擧げ準備中であるが縣下大會及び東北大會に決勝戦迄臨んで母校の名を輝かした野球部の七名を筆頭に水高主催の關東北、北海道大會に見事優勝の榮冠を荷つた庭球部の二名等左記二十一名である

▲野球部森文則 赤坂顯

▲鈴木莊六 日野義雄

▲沼田照 高橋國信 佐々

▲木武 ▲庭球部木田英夫

▲塚本茂 ▲柔道部岡野忠 ▲

▲劍道部草野忠悟 郡司重

▲男 渡邊新兵衛 ▲競技部

▲澤田良彦 山野義人 片

▲寄織江 ▲辯論部若松武平

▲戸田清 眞田久 ▲弓道部

▲山崎明 綿貫勇

傳染病委員會

平町は來月二日午後一時より町會議事堂に傳染病豫防委員會を開き衛生關係の十年度豫算編成に就いて協議する

教育行事協議

平第一、第二、第三の各小學校長會は昨二十九日午後二時から第一校會議室に開き二月分の行事に就いて協議した

栗谷氏が歸國

福島民報平支局長を辭した栗谷甫氏は卅一日午前二時二十分平驛發列車で家族と共に千葉縣に歸國すると

平町人事

△結婚 姻
△京市板橋區中新井三

市原醫院

平・田町 電話二一四番

貸切の御用命

ぜひ・三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好問、合戸、澤渡方面行

長唄御稽古案内

三味線お唄共に晝夜御隨意

出稽古も致します

平町一丁目南川岸

(渡邊銃砲店裏)

長唄師匠 杵屋六美

丹野齒科醫院

丹野淳夫

レコード

五十錢均一賣出し

子供レコード

二十五錢均一

平町四丁目(マツモトヤ隣)

メトロレコード店

電話(呼)二一四番

甲種合格の青年が

本年も又壯丁検査

一つの體に二つの戸籍

止なく里親相手に訴訟

▽…判決を見て一安心

平町研町六本籍宮城縣柴田郡槻木町大字入間田字金谷一二八船山勝衛事佐々木一衛(三)君は幼少の折肩書地の船山助治郎さんの家に

里子に預けられたが種々の事情から里流れとなり助治郎さんも可愛さの餘り自分の戸籍に庶子として生れた事に届出た爲め同君は一人で二つの戸籍を持つ事となり昨年の壯丁検査の際は佐々木一衛の名で

大隊に入營するが本年は更に船山一衛の名で検査を受けねばならぬので困つて終つた同君は過般辯護士門傳清吾氏を

代理人とし里親である船山助治郎さんと相手に「親子關係無効確認」といふ訴訟を提起したが昨廿九日辯論開廷、中島裁判長から「原告の訴は是れを認む」と

判決を受け漸く同君は二つの戸籍の難から免れる事になつた

検査を受け見事甲種合格となり近く仙臺輜重兵

薬の大袋

平町貧困者に

三十袋を寄贈

濟生會の福島支部から

今回平町役場へ濟生會福島支部より感冒、胃腸、凍傷等各藥品在中の大袋三十袋を送付して来たので市内貧困者に無料配給すべく近く各區長に該當者調査方を依頼する事になつた

北野天満上棟 平町仲間町に鎮座する北野天満

宮神社は腐朽甚だしいので工費二千圓を以て改築中の處明卅一日午前十時よりは是が上棟式を擧げる

驛の保健事務 常磐線平一高萩間、赤井一小川郷各驛の保健事務打合せ會は本卅日午前九時より平驛樓上に中村水戸運輸事務所

長、東京鐵道局庶務課員等臨席の上開かれ平鐵道治療

有難い判決に…

涙を押へて

愛兒の墓前にと

けふ母親が出所

既報一亭主に捨てられ貧困の餘り二人の愛兒を絞殺したが事情勘すべしとして懲役二年但し三年間刑の執行猶豫の寛大な判決を受けた貝泊村中澤酒井マツヨ(三)は其後検事控訴も免れて今三十日引取の爲め出頭した實父煙田守太郎氏に連れられはより落ちる涙を押へて今は亡き愛兒の冥福を祈らんと刑務所に別れを告げた

既報一亭主に捨てられ貧困の餘り二人の愛兒を絞殺したが事情勘すべしとして懲役二年但し三年間刑の執行猶豫の寛大な判決を受けた貝泊村中澤酒井マツヨ(三)は其後検事控訴も免れて今三十日引取の爲め出頭した實父煙田守太郎氏に連れられはより落ちる涙を押へて今は亡き愛兒の冥福を祈らんと刑務所に別れを告げた

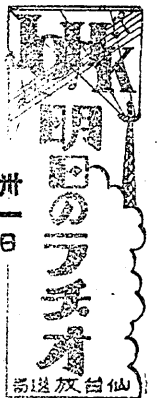
無事故の協議 既報平驛は昨廿九日午前十時より同驛樓上で本年第二回目の事故防止委員會を開き運轉作業の事故防止につき協議を遂げた

身の代金は

けふ送金されて

明るい世間に顔出しが叶ふ

既報平職業紹介所では神谷村字瀬戸生れ鈴木トトリ(三)さんが三崎遊廊新海樓事尾瀬戸信太郎方に百五十圓で身賣りしたのを救済する爲め折衝中の處八方の話が纏り本日同紹介所より東京中央職業紹介所に百五十圓を



今夜も明日も北西の風天気好くなる

明日のラジオ

- 今晩の部
 - 後六、〇〇 子供の時間
 - 連綿物語「親鳩子鳩」一大阪電話教育研究會若草子供會
 - 後六、二五 基礎英語講座
 - 後七、三〇 講演「日本と」
- 満洲の林業「市河三祿」
- 後八、〇〇 東西ラヂオド「ラマ」雪降る「柳永二郎他
- 後九、一五 流行唱歌曲週
- 間豆千代他
- 後九、三〇 時報 ニュー
- ス 氣象通報 番組豫告

鬼の苦手

とうとう捕る

好間村大字今仁井田字宮野無職松木陸(三)は去る廿七日午後六時頃同字園部定一方で飼養の鬼二匹を窃取して平驛に檢舉されたが他にも十五匹窃取した旨自白した

風呂場から

好間の火事

好間村大字北好間字猪ノ鼻三六農安戸茂(三)方の風呂場より昨卅日午後十時半頃發火住家及び非住家二棟を全焼して十一時鎮火したが損害三百圓で原因は風呂場の残り火であると

入錢也で鱈腹

縣東置賜郡目村生れ住所不定無職山口達之助(三)は去る廿八日午後八時頃懷中に八錢也を持ち小名濱町字上町カフエー營業者伊藤土提文方で酒九本其他三圓八十錢餘を飲食し駐在所に突き出された

平職業紹介所報告

回人を求める方
△商店雜役 三十位 委細面談
△小店員 十六以下二名

- 明日の
 - 前七、〇一 基礎獨語講座
 - (八)三浦吉兵衛
 - 前七、三〇 聖典講義「心地觀經報恩品抄」(十)文
 - 學博「福島政雄
 - 前一〇、三〇 母の時間
 - 「子供の習慣のつけ方」山下俊郎
 - 後〇、〇五 俚諺 峰村利子外
 - 後二、〇〇 家庭講座「諸曲のお稽古」(五)觀世喜

- 之
 - 後六、〇〇 子供の時間
 - 童謡と唱歌 宮城縣女子師範學校附屬小學兒童
 - 後六、二五 英語講座(五)梅谷興一
 - 後七、三〇 趣味講座「ユートピア物語」平田禿木
 - 後八、〇〇 大衆演藝の夕
 - 三遊亭圓歌外
 - 後九、一〇 流行歌謡週間(その三)白置靜 奥田英子

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

尋卒 委細面談
△粕々 二十五才 月十圓
△女中 二十五才 尋卒 月二圓位
回職を求める方
△店員 三十七才 尋四修
△農夫 二十四才 尋卒
△機械工 十七才 佑賢卒
△炊事婦 四十一才 尋四修
以上いづれも給料面談



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島雄史

(畫) 野口

第四十二回

大官と野人 (五)

「つまり数寄屋河岸のひつぱりが一躍して英國公使様の第二夫人に出世したんですわ」

「ほう辻君が...それほどの美女だったのかい」

「美人はひろん美人でせうさ、けれど何よりも驚くのは、とにかく、あなた、数寄屋河岸のひつぱりではねえ」

「でも、姐さん、そのおとわといふ女だ、の辻君ぢやなかつたんですつて」

「年若い友は横合から口を出した」

「何ですの、一體」

「兄さんの仇を討ちたいばかりに、辻君にまで身を落したんですつて」

「誰がそんな事を言つて」

「副島先生がいつぞや、伊藤さんとお酒を召上りながらお話してゐられたわ。何でも、見さんが、紅毛人のお館につとめてゐるうちに御主人に殺されたので、その御主人を敵とおもつて付狙つてゐるんですつて」

「おちよぼ口で、べらべらき、かちりのことを喋りまわつた。それを黙々と」

「可哀相ですぜ」
「芳三郎、冗談をいふてゐる場合ぢやない。おれは歸る」

「何か、一大事でも...」
「それには耳を藉さず、茂平次の方に向ひ」

「所氏、折角の御招待なれどもそれがし、これにて失禮いたす。悪しからず」

「二三歩、あるまじだしたのを背後から」
「お待ちなされ」

「じろり鋭い目で見据えた」
「いや、いづれまた、お目にかゝる機会もござらうか」



「おれは、歸る」

「だつて、たつたいま、お風呂から上つて座についたばかり、それぢや、女たち」

「あら」
「あなた、やはり大隈さん殺しにいかれるのかね」

「大志賀は振かへつた」
「刺客商賣がやめられないのでござす」

「そんなら...」
「お、さ、もう一つの稼業、仇討助太刀の方ぢや」
「では、いまの少女の話をまたうけて、おまへさん、その辻君の助太刀に行きなされるか」

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

破魔弓と羽子板

平・四
電九五

スガノヤ提灯店

陳列致しました
御子様の御祝に是非！

株式賣買債權取立
合資 三 共 商 事

外科 専門
花柳病科

木村外科醫院

自炊入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋際

市土千あさぎ

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一電)目丁四平

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮 温 湯
ハタケ、ヤケド、キリキズ、タムシ、子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
うまくてセキがヨクトマル
靈藥ムテキ
ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したもの、を切らずに癒る

平町古銀治町〇一
阿 康 藥 舗
縣社ノ下 電話四四番

吉田眼科病院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

木炭代用
月星豆炭 一八キ口壹袋
金 八 十 錢

平 驛 前
阿部石炭商店